

クラウド型 国際/業界横断EDI

「EcoChange」のご紹介

2016年2月

株式会社グローバルワイズ



アジェンダ

1. 会社紹介
2. EcoChange開発背景、特長
3. EcoChange実績
4. MIインフラにおけるEcoChange利用案
5. EcoChange機能

会社紹介

会社情報

1. 社名 株式会社グローバルワイズ

2. 代表者名 代表取締役伊原栄一

3. 所在地

本社 愛知県名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号
住友生命名古屋ビル 21階

東京事務所 東京都千代田区外神田四丁目5番5号
アキバ三滝館9階

刈谷事務所 愛知県刈谷市若松町二丁目55番1号

4. 社員数 52名（2015年12月）

事業概要

自社パッケージからお客様のご要望に応じるカスタムズ、お客様へのソリューションシステム、ネットワークインフラも含めた、サービスサポートをトータルご提供しております。

EcoChange
e場
W2MS
証券売買監査システム
医師学会向け論文XML
化システム

パッ
ケージ

システ
ム開発

サービ
スサ
ポート

トヨタEDIシステム運用支援サービス
医学学会管理サポートサービス
EDIサービス
基幹データセンター運用サービス
システムインフラ運用支援サービス
ネットワークインフラ構築支援サービス
GDAT Aアンチウィルス販売

トヨワーキングEDI
自動車部品製造生産管理システム
エーザイ向け包装包材管理システム他
(GMP対応)
証券会社売買監査システム
学会管理システム
スマホ・タブレット生産指示実績収集
システム
JA間EDIシステム
自動倉庫管理システム
自動車用品Web受注管理システム
電子帳票化管理システム
土地テナントゼネコンマッチングシ
ステム他

EDI 関連実績

トヨタグループ：TCP-IP汎用EDIシステム開発及び保守（1千社）

クラウド型かんばん対応EDIシステム（250社）

JA：JA間取引Web-EDI

経済産業省：ビジネスインフラ実証実験 → **EcoChange**

中部経済産業局 異なるEDIとの連携、クラウドアプリケーションとの連携事業の実証、クラウド型EDI普及ビジネスモデル研究会

日本IBM社：IE/EXWEB-EDI購買連携システム

ヴィレッジヴァンガード社：仕入先EDIシステム

カーディラー：自動車用品発注サイト「AME-MALL」

NTTコミュニケーションズ.com：Exchangeサービス向けEDI通信クライアント

オートバイ用品代理店：カタログ発注システム

日東工業株式会社様：調達EDI

他

EcoChange開発背景、特長

EcoChangeとは

国を跨いで企業と企業とを繋ぐビジネスを

[= Ecosystem (経済界の生態系)]

円滑に進行させるために、そこでの情報・データの交換を

[= Data Interchange (データ交換)]

安全・確実に執り行うことを実現するビジネスインフラであり、

それは、クラウド形式で提供されるEDIサービスです。



つかえる クラウド型 国際/業界横断EDIです。

EcoChangeの特長

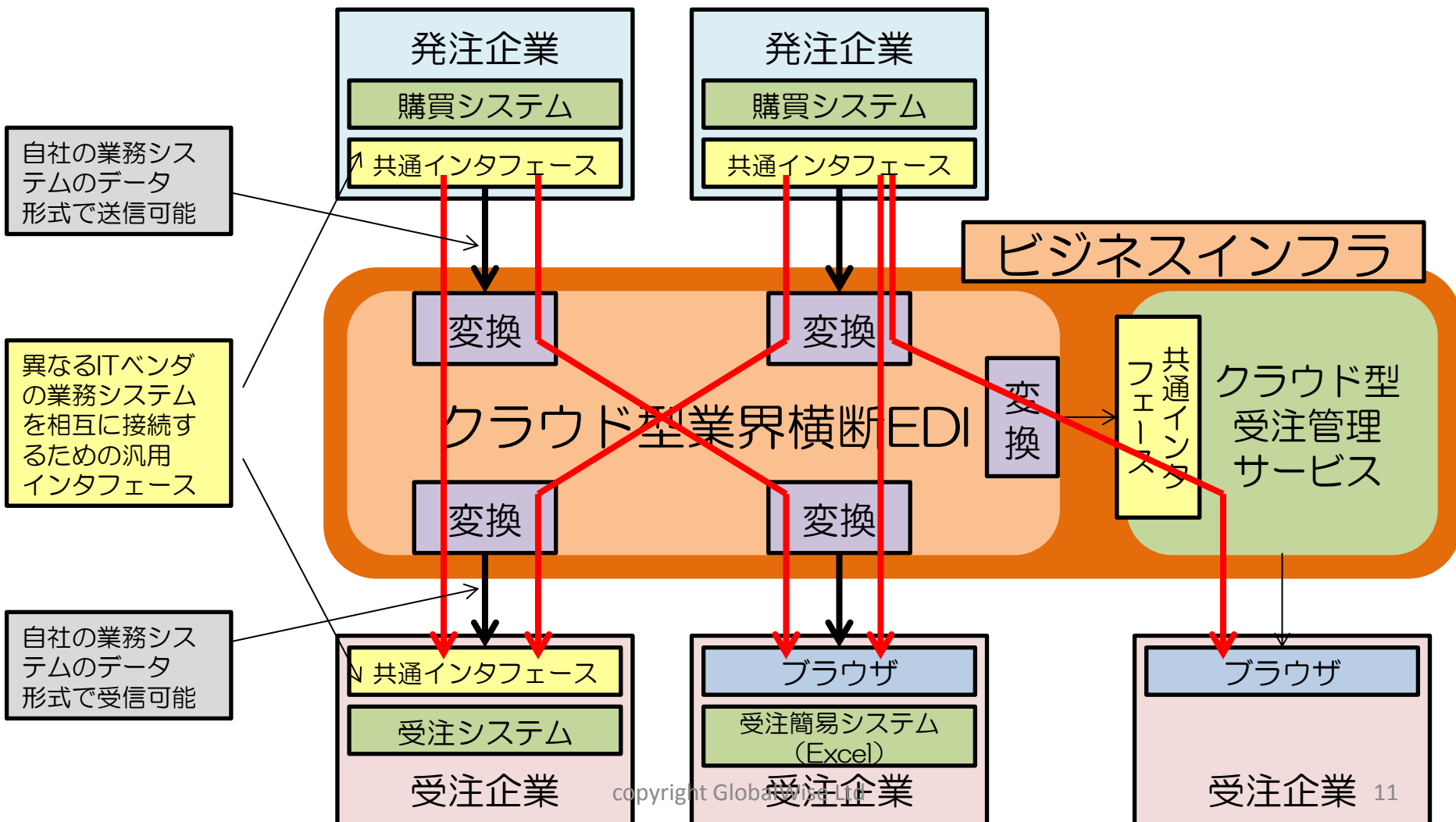
- 国連CEFACTの国際EDI標準（XML EDIFACT）に準拠
- 経済産業省が推進する「業界横断EDI」仕様を装備
- 多端末問題、多画面問題を解決するシングルウィンドウ・シングルインタフェースを実現
- 多言語対応（英語）※中国語、タイ語対応予定
- 基幹システムや各種アプリケーションとのシームレスな連携を実現
- クラウドサービスによる提供

国際/業界横断EDI標準化における弊社の取組み

参画時期	参加組織・研究会	組織・研究会の目的	成果
2009～ 2012	次世代EDI推進協議会 (JEDIC)	サプライチェーンにおける情報共有の基盤を整備するため、企業間での情報交換手段であるEDIをビジネスインフラへ進化させることをミッションとする。	「業界横断EDI仕様 V1.1」
2009～ 現在	「企業間・企業内データ連携 調査研究委員会」(ITコー ディネータ協会)	平成21年度に(財)機械振興協会から受託した調査研究事業(テーマ:中小企業モノづくりの生産性向上に貢献する企業内・企業間データ連携手法)	「業界横断EDI仕様 V1.1」取りまとめに協力
2012～ 現在	サプライチェーン情報基盤研 究会(SIPS)	JEDICを継承し、グローバルな情報連携との相互運用性を保ちながら、その成果を金流・商流の情報連携を含め、サプライチェーンに関する業務・業種に幅広く拡充してゆく役割も担って、国連CEFACT日本委員会の下に設置された研究会。	「業界横断EDI仕様 V2.0」
時期	事業名称	事業の目的	成果
2008	平成21年度ビジネスインフラプロジェクト「中小製造業向け標準EDI仕様の実装及び実証業務」(経済産業省)	業務パッケージソフトへのEDI(製造業プラットフォーム)機能追加によるパッケージ製品の価値向上(ERP化)による中小企業へのインセンティブ創出に取り組む。	EcoChangeを製品化
2010	ビジネスインフラ推進会議 普及部会(日本情報処理開発 協会 JIPDEC)	従来のEDIを企業や業界、国を超えて自由自在に情報の交換や共有が行える標準ビジネス取引基盤(ビジネスインフラ)に進化させるための調査を実施。	標準ビジネス取引基盤構築に関する調査研究・業界標準EDI活用ガイド編纂
2011	中小企業向けクラウド型EDI の普及に向けた自立型ビジネス モデル研究会(経済産業 省 中部経済産業局)	幹事会社として、小島プレス工業(株)や(株)八幡ねじなどEDI先進企業とともに、クラウド型EDIを広く中小・零細企業にまで普及させるための自立型ビジネスモデルの構築に向けた事業を行なう。	小島プレス工業様と八幡ねじ様、および弊社のEDIを相互に接続
2012	「クラウド型EDI普及ビジネス モデルに関する事業化研究 会」(独立行政法人情報処理 推進機構)	クラウド型EDIの普及ビジネスモデルの事業化に向け、従前の実証等の取組成果をより活用できる分野として、海外現地企業との取引など「中堅中小製造業の海外展開」に注目し、そのITサポートに主眼を置いたクラウド型EDIサービスの提供可能性について調査を実施。	複数のアプリケーション パッケージの連携

クラウド型業界横断EDIが実現するサービス形態

- 企業規模を問わない「業界横断EDI仕様」を実装したEDIサービスを提供
- EDIサービスプロバイダ1社との契約で、複数の取引先と一括して接続できるサービスを提供
- 受注企業と発注企業のそれぞれに固有なデータ形式へ受渡可能な変換サービスを提供
- クラウド型業界横断EDIとデータ連携する業務アプリ、クラウド型業務サービスを提供



国際／業界横断EDIを活用するメリット

■受注者の立場から見たメリット

従来のEDI使用のメリット	ビジネスインフラであるEDI活用のメリット
●作業の軽減や効率化 ・自社システムへの取り込みが手作業無しで行える。 ・見積時の値決めや価格回答が端末操作だけで実施でき、出向く必要がない。 ・自社の業務の都合に合わせて処理が可能となる。 ●データの信頼性向上 ・手作業で発生する入力ミスが、自動的に取り込むことで無くなり、信頼性が向上する。 ・画面が鮮明で、FAXと違い、注文内容の読み違いが発生しない。 ・金額の計算違いが発生しない。 ●情報の入手とスピードアップ ・受注作業が手作業から自動化され、早く把握できる。 ・所要量計画が早期に入手できる。 ●情報の共有と活用 ・受注情報などが共有でき、社内の複数部門で活用可能となる。	●共通フォーマットによる注文データのダウンロードが可能となる。 ・特定業界の顧客のみと取引する企業は、取引先顧客からのEDI受注データを業界EDI標準形式でダウンロードできるようになり、自社の基幹システムへの取り込みインタフェース開発が1回で済む。 ・複数業界の顧客と取引する企業は、取引先顧客からのEDI受注データを業界横断EDI仕様の形式でダウンロードできるため、異なるデータ形式の受注データに対する処理が不要となる。 ●多画面問題の解消 ・クラウド型EDIサービスプロバイダの単一ログイン、単一画面サービスを利用すれば、多画面問題が解消される。クラウド型EDIが業界横断EDI仕様のデータ形式に変換するため、受注企業は単一画面で多様な発注企業からのデータを受信することができるようになる。

(出典) 次世代電子商取引推進協議会「業界標準EDI整備に関する調査研究報告書」(平成22年3月)

ビジネスインフラとしてのEDIを活用するメリット

■発注者の立場から見たメリット

従来のEDI使用のメリット	ビジネスインフラであるEDI活用のメリット
●作業の軽減 ・発注作業の省力化。特に取扱量が膨大なケースではEDIがないと運用ができない。 ・書類枚数の激減。転記作業が不要となり、事務員の作業が軽減する。 ●データの信頼性 ・転記ミスが無くなり、データの信頼性が向上する。 ●業務のスピードアップ ・発注業務の時間が短縮。 ・発注情報の即時伝達が可能。 ●費用の軽減 ・紙の節約、FAXの費用が不要。 ・適正発注が可能で、在庫削減効果もある。	●既に発注EDIを導入している企業のメリット ・さらに接続取引先を拡大したい場合に、相手先企業のメリットも同時に生まれないとなかなか進まないという悩みがある。業界横断EDI仕様サービスを提供するクラウド型EDIサービスプロバイダにアウトソーシングすることで、「多画面問題」が解消して受注企業の負担が軽減され、受注企業にもメリットを提供できるため、EDIの利用企業を拡大できる。また、取引ガイドライン対策にもなり、安心してEDIを利用できるようになる。 ●新規に活用する企業のメリット ・紙ベースの取引が主体であり、EDIによる発注をこれからとする企業では、自社のメリットと取引先のメリットを享受しながら、新しいビジネスインフラの活用を推進する指標が明示されているため、実現性が増す。EDI導入検討と同時に、社内基幹システムの改善検討に着手すれば、受注企業にとっても、発注企業にとってもEDI導入の効果は一層大きなものとなる。

(出典) 次世代電子商取引推進協議会「業界標準EDI整備に関する調査研究報告書」(平成22年3月)

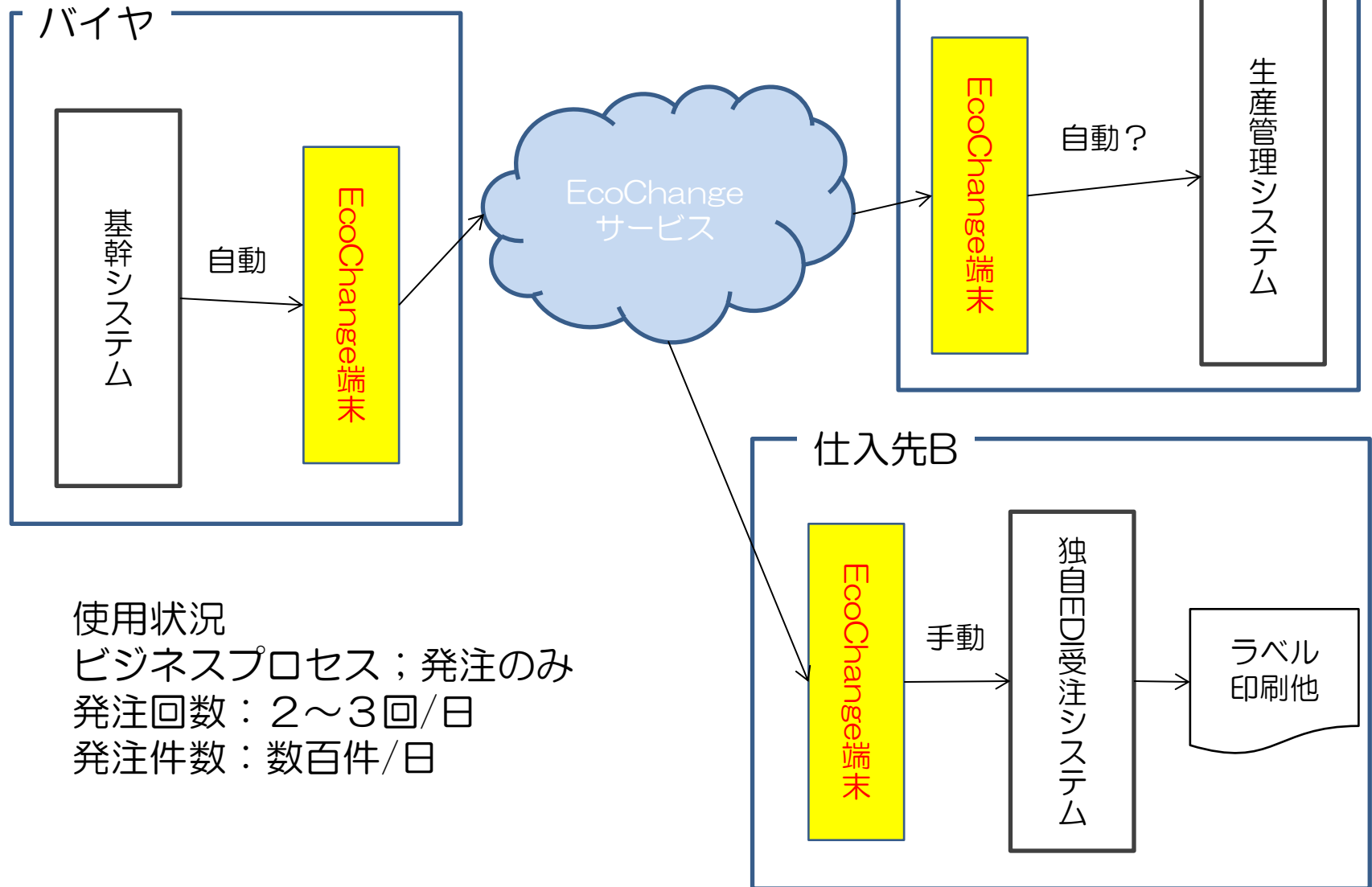
EcoChange導入のメリット

- 低コストで、すぐにEDIを実行できます
- 国際標準の業界横断EDIを利用できます
- 業務の迅速化・効率化に寄与します
- 他アプリとの情報連携と図面や仕様書などの情報共有ができます
- 自社基幹システムと容易に連携できます
- 自動インストール／アップデート機能により、クライアント管理が楽になります
- EDIのメンテナンスはクラウドに任せることができます
- オンデマンドで無理なく利用できます

EcoChange実績

EcoChange 事例紹介（食材仕入れ）

2010年10月サービスイン



使用状況
ビジネスプロセス；発注のみ
発注回数：2～3回/日
発注件数：数百件/日

EcoChange 事例紹介（商社）

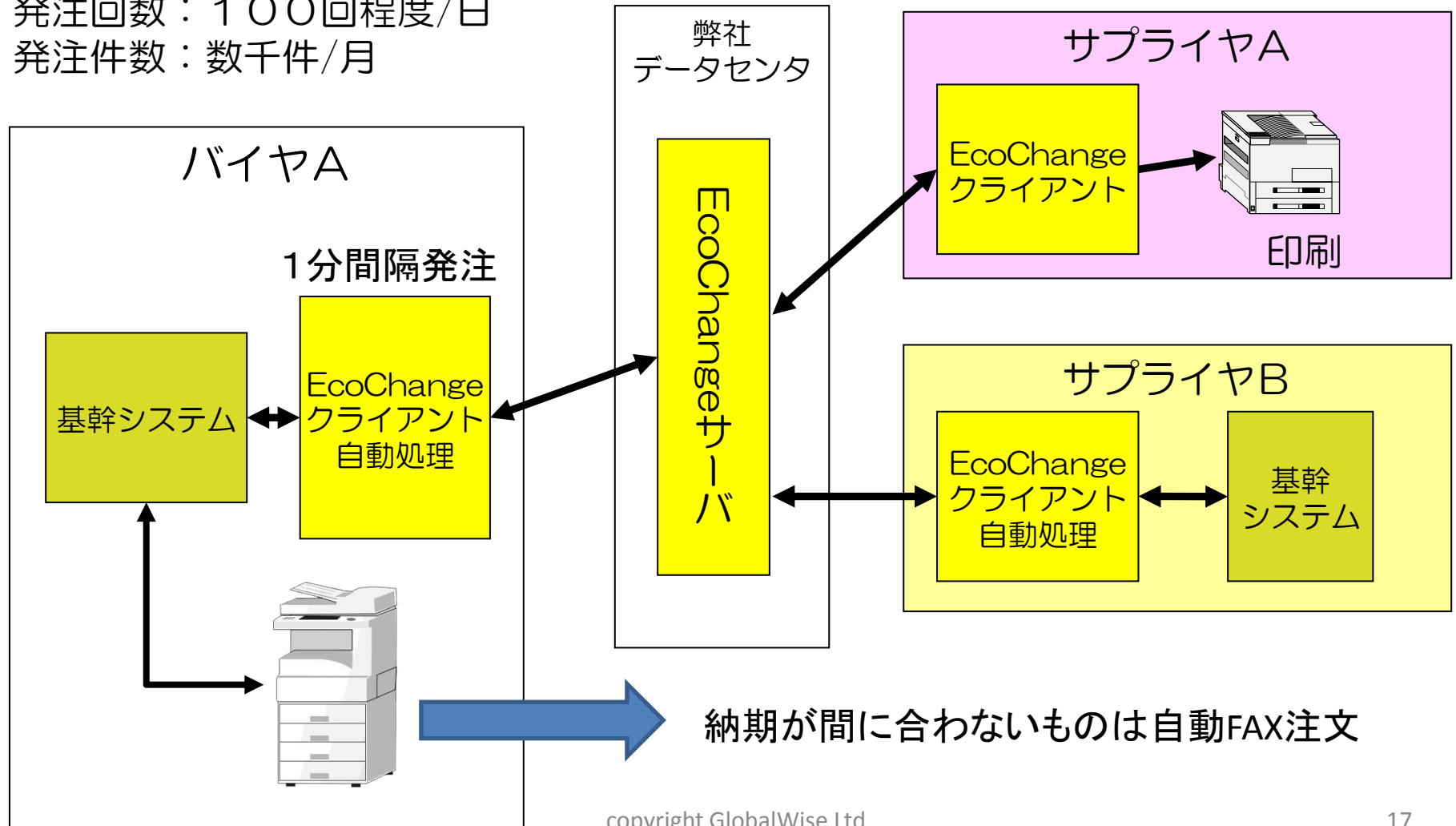
2012年5月サービスイン

使用状況

ビジネスプロセス；発注～請回答

発注回数：100回程度/日

発注件数：数千件/月



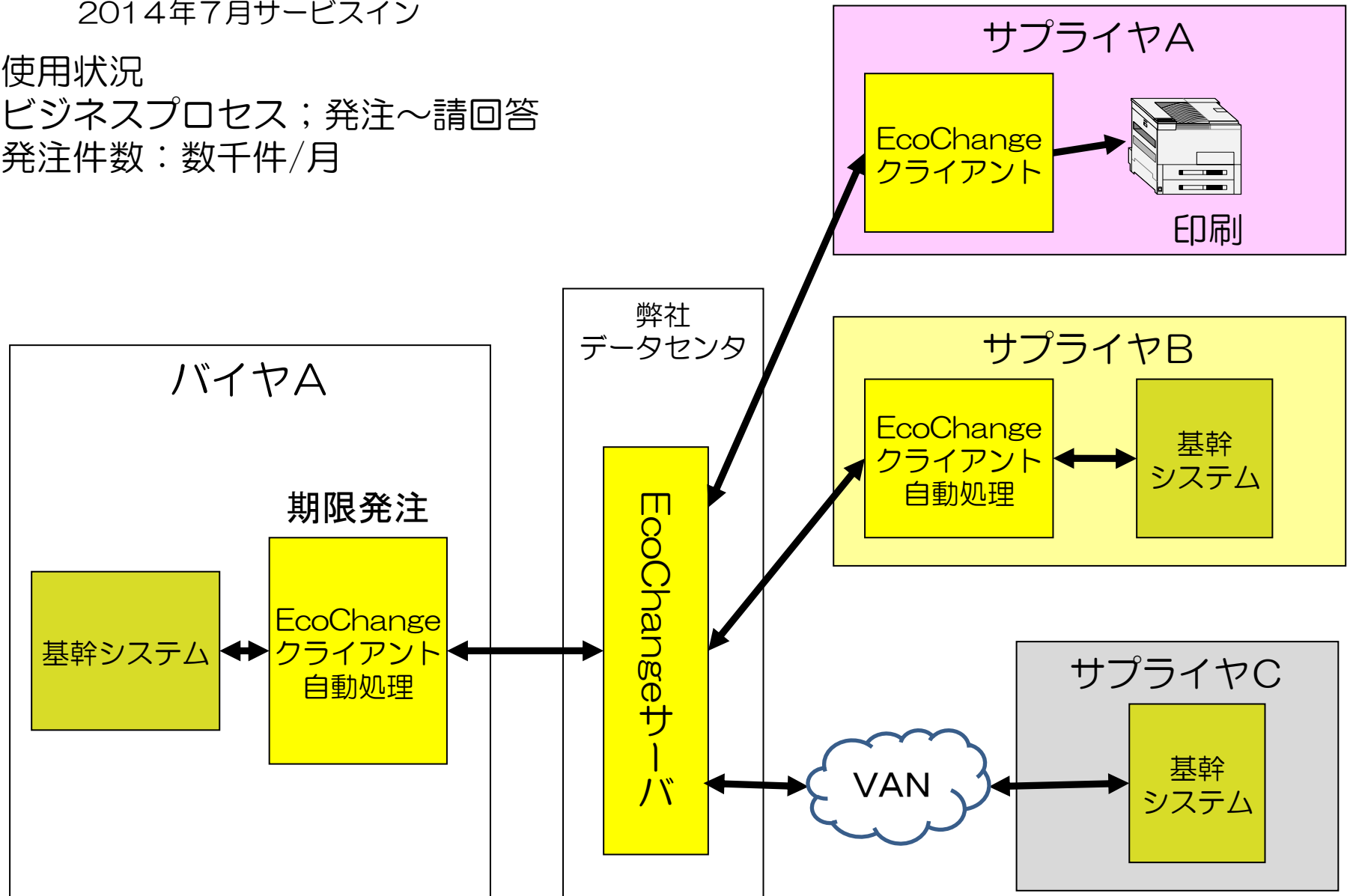
EcoChange 事例紹介（電材調達）

2014年7月サービスイン

使用状況

ビジネスプロセス；発注～請回答

発注件数：数千件/月



EcoChange 事例紹介（海外部品調達）

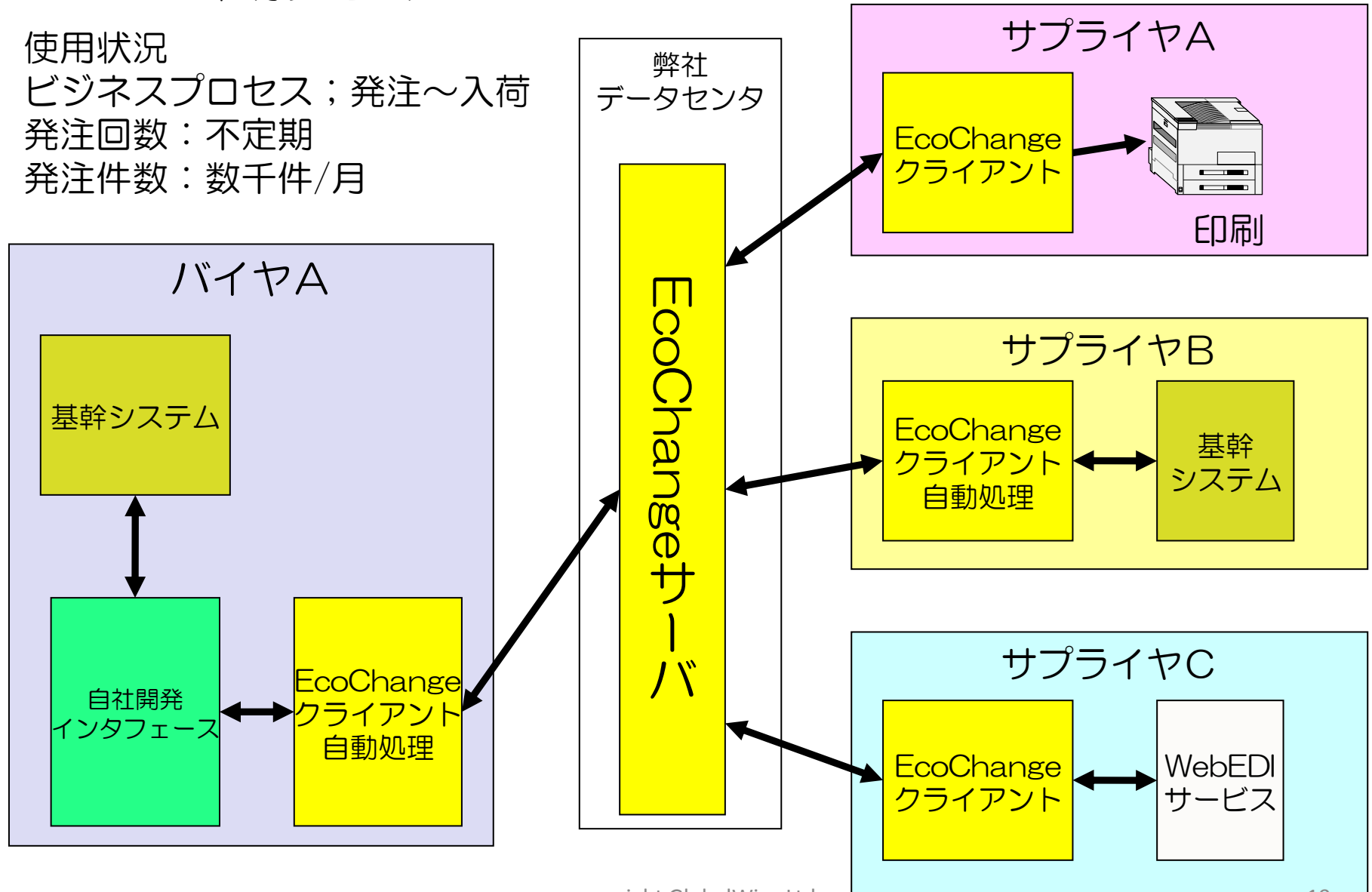
2010年8月サービスイン

使用状況

ビジネスプロセス；発注～入荷

発注回数：不定期

発注件数：数千件/月



Tワーキング 事例紹介

2014年1月サービスイン

使用状況

T社系列Tier1:250社導入



Tier1: 300社

T社

自動車部品
大手メーカー

自動車部品
大手メーカー

自動車部品
大手メーカー

Tier2: 1.5万社

自動車部品
メーカー

自動車部品
メーカー

自動車部品
メーカー

自動車部品
メーカー

Tier3: 5万社

中小
協力会社

中小
協力会社

中小
協力会社

中小
協力会社

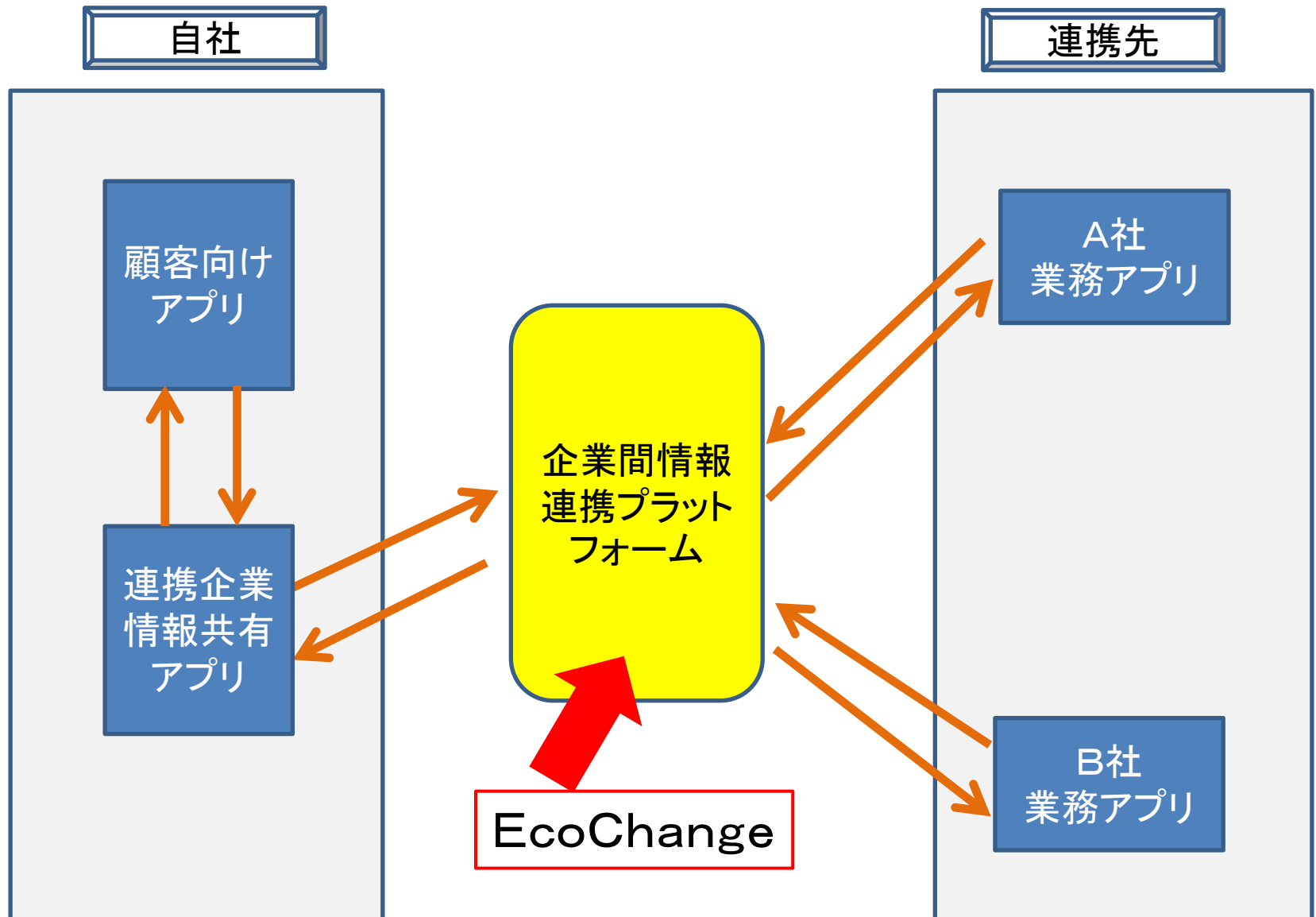
中小
協力会社

EcoChange 事例紹介（航空部品製造）

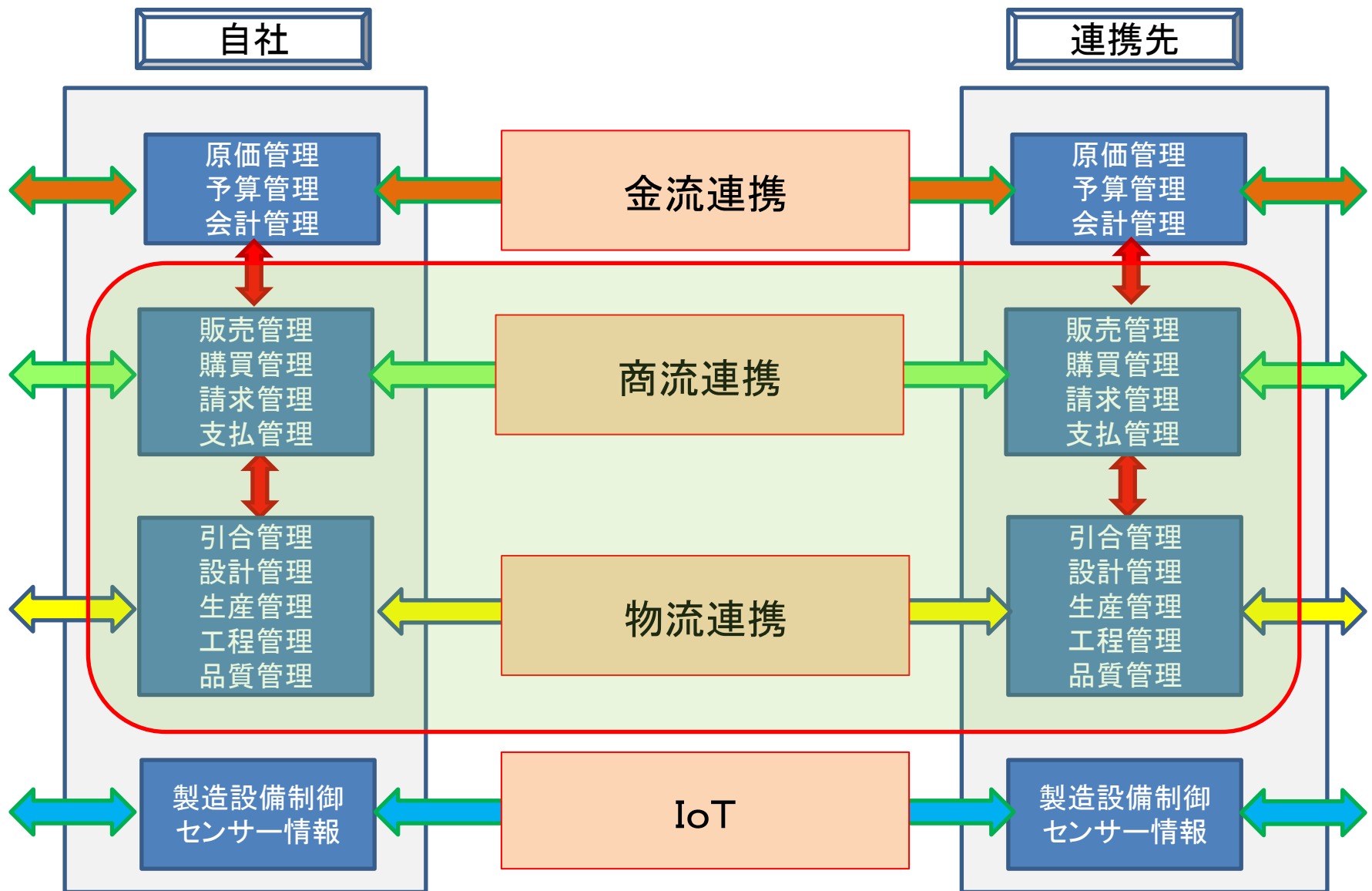
- 松阪部品クラスターにおける、共通EDI実証実験（～2016年3月）
 - 昨今の民需機種増産・量産化に向けた、業務効率化とコストダウンを実現する仕組み作りを行う必要性がある。
 - 現状の課題、Tier2⇒Tier3間の受発注の仕組みにバラつきがあり。共通EDI構築により、全体処理期間短縮を図る。
- 松阪部品クラスターについて
 - 民需機向け部品加工会社9社により、2015年4月に設立。
 - 松阪工場を拠点に一貫生産・供給体制を構築。
 - 国産ジェット旅客機MRJの尾翼などを量産。

IVIインフラにおけるEcoChange利用案

情報連携プラットフォームとしてのEcoChange



IVIインフラとしての利用シーン



EcoChange機能

EcoChangeの機能

自動インストール機能

- Webサイトからログインすると、プログラムがPCに自動インストールされ起動します。
- 各種設定はサーバに保存できます。
- 最新版を意識することなく常に利用できます。
- 作業者が意識してインストール作業を行なう必要がありません。
- PCの場所は、基本的に制限されません。

自動処理機能

- 自動印刷機能で、FAXの代わりとして使用できます。
- 注文情報をCSVデータとして自動取得できます。
- 注文情報のアップロード時に、相手側に注文情報送信の通知メールが送信されます。

自動連携機能

- 基幹システムとEcoChangeの自動連携の改修コストが軽微です。
- EDIを持たないシステムでも、Excel等を活用し、低コストでEDI連携のシステムに移行できます。

トランスレータ機能

- マッピング機能で、自社情報の変更は最小限に抑えることができます。
- 各社ごとのデータを同一形式（自社用）のCSVあるいはXMLとして扱うことができます。

注文メール連絡機能

- 注文情報が送信されたことをメールで受注企業に連絡する機能です。

※オプション

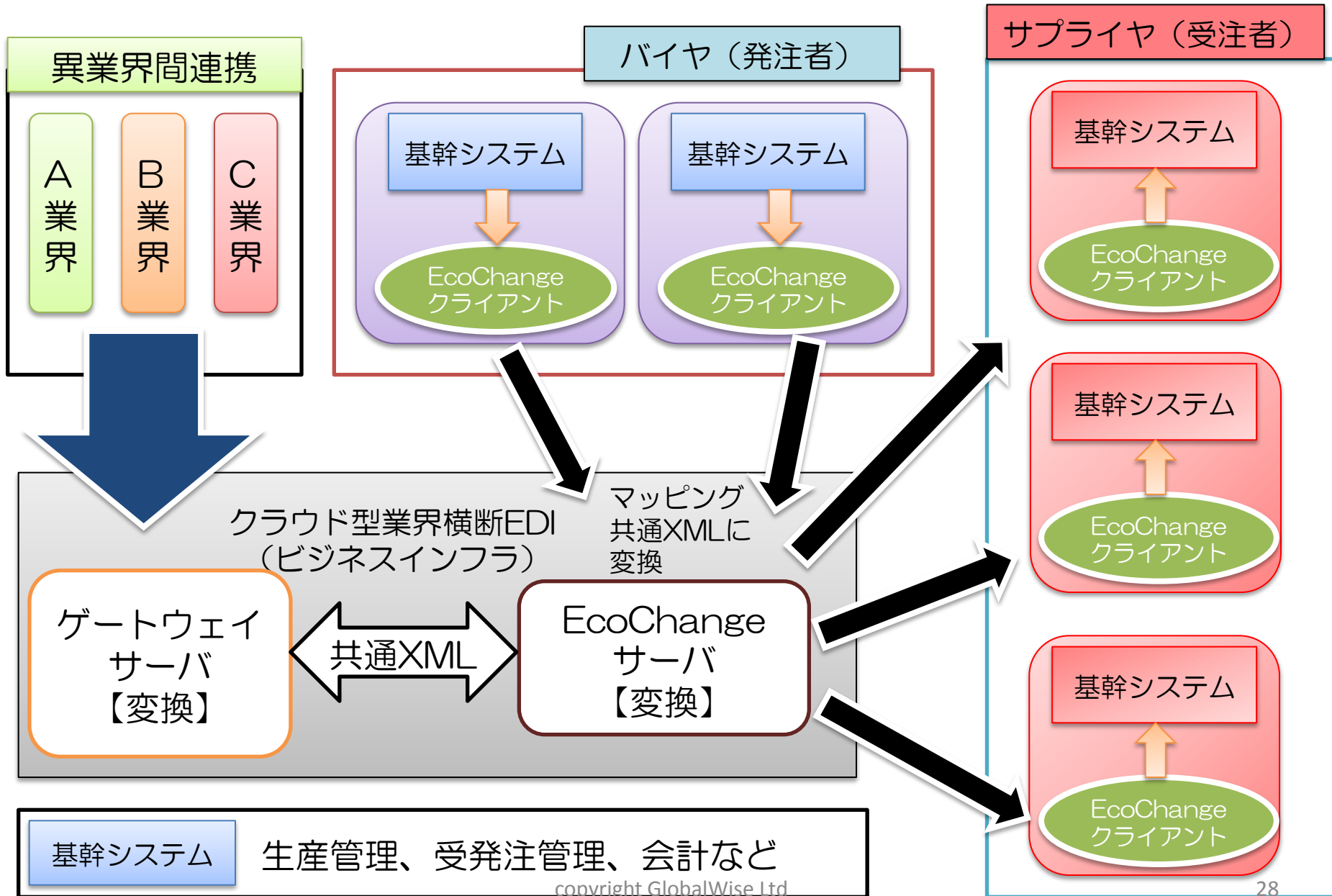
プログラムアドオン機能

- SDK（Java）を準備しており、アドオン機能を容易に開発できます。

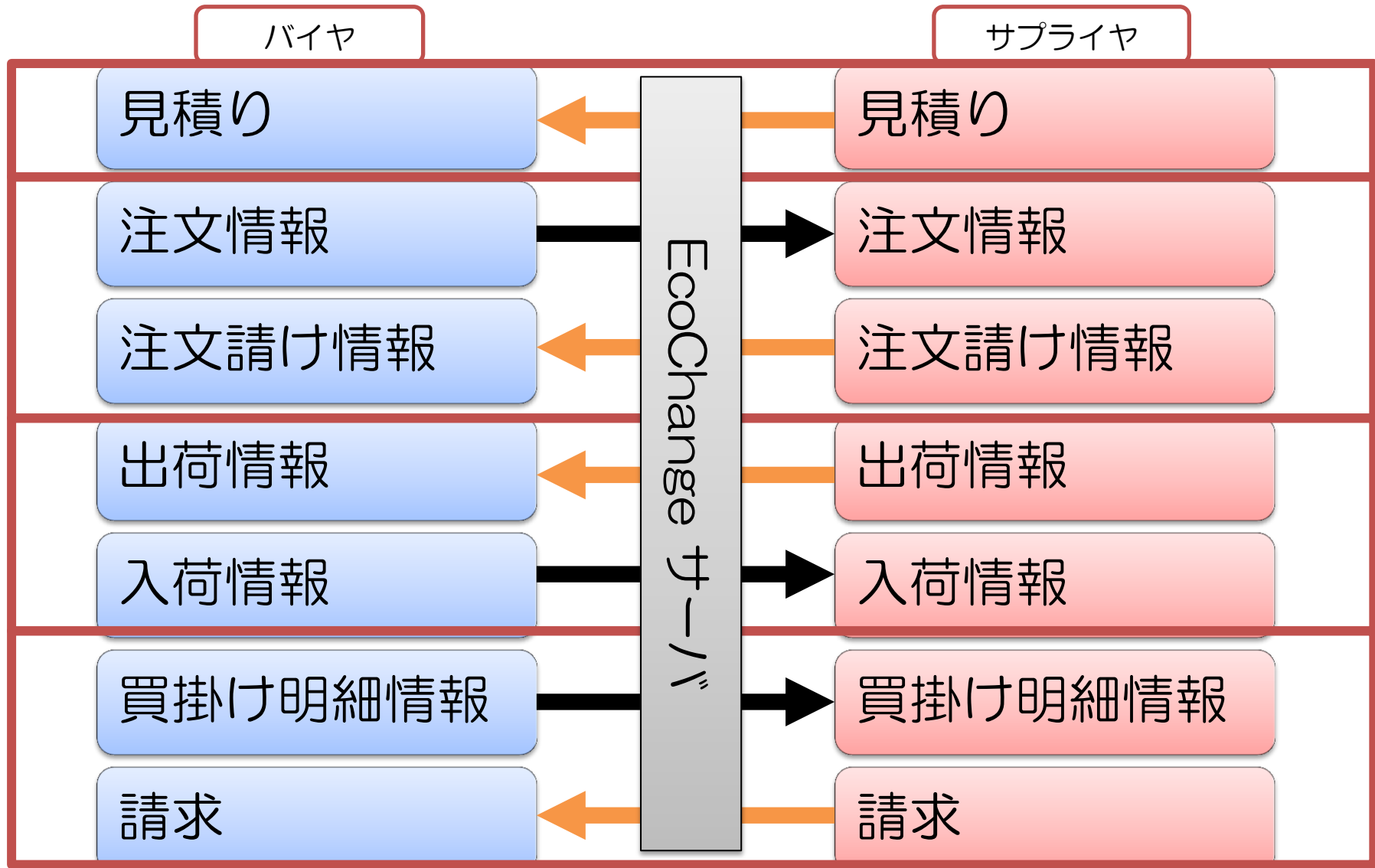
ファイル添付機能

- 注文情報に仕様書・CAD図面などのファイルを添付できます。
- 注文情報と関連情報が分散しません。

EcoChangeのサービス概要



EcoChangeの基本機能とオプション機能



EcoChange 機能説明 [画面]

トップメニュー画面

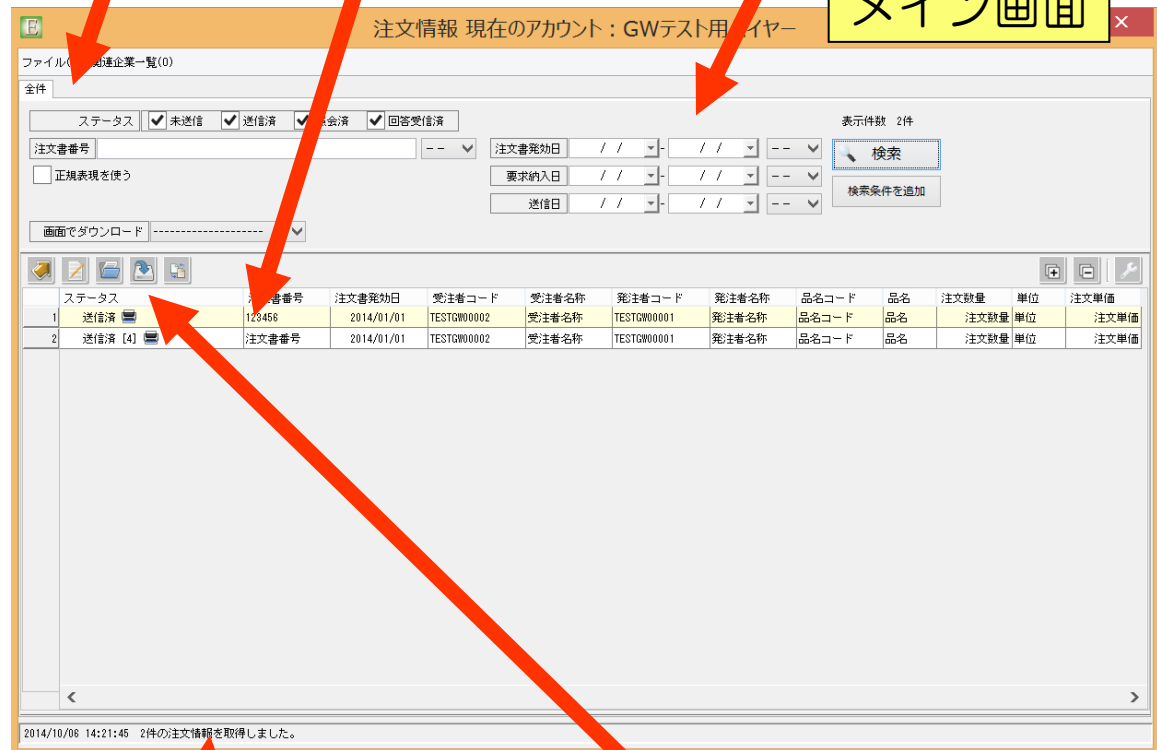


取引先別タブ

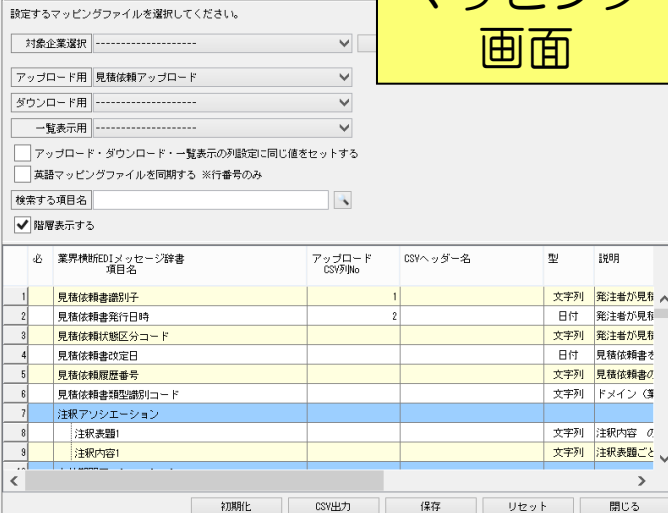
受発注一覧

各種検索

メイン画面



データマッピング設定



マッピング画面

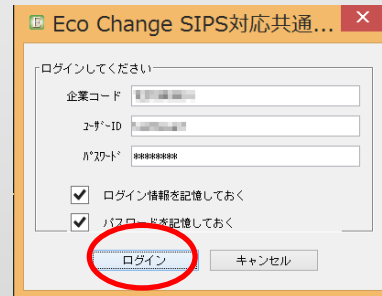
実行履歴

各種機能ボタン

EcoChange 機能説明

〔自動インストール〕

自動インストール イメージ



Webサーバ

□グイン

EcoChange 開始



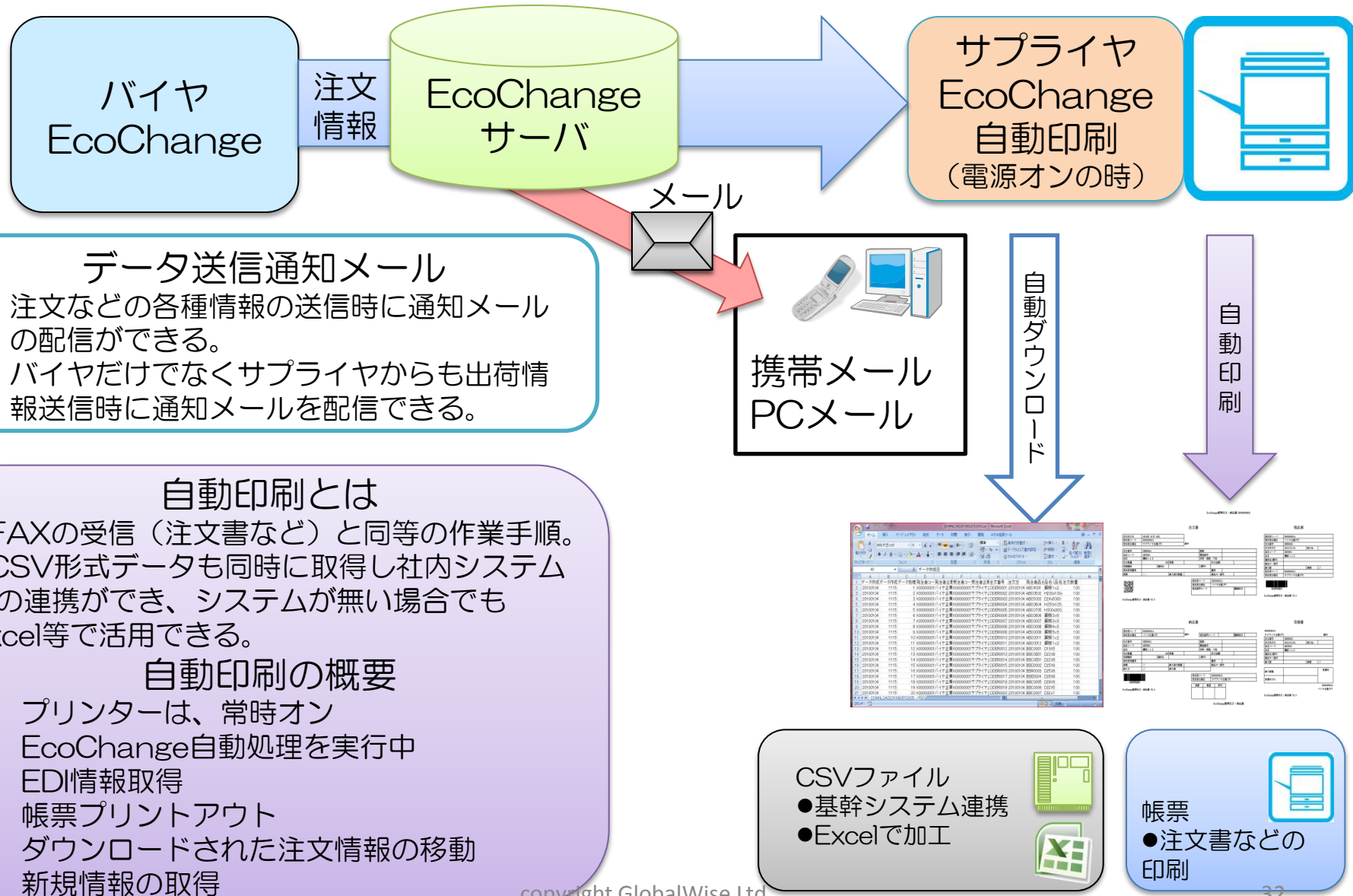
Java auto start

自動スタート

EcoChange端末へ インストール・更新

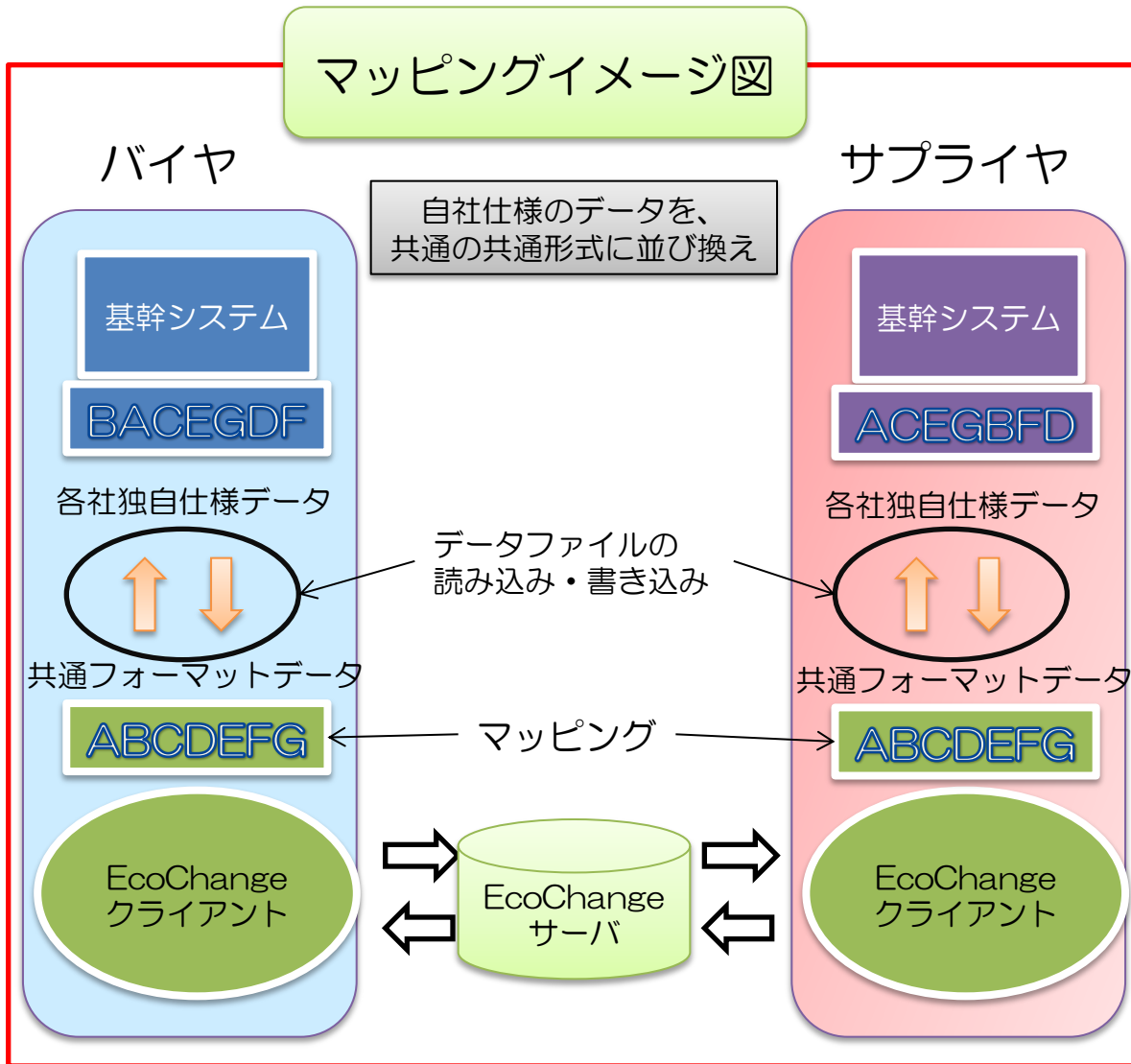


EcoChange 機能説明 [自動印刷と通知メール]



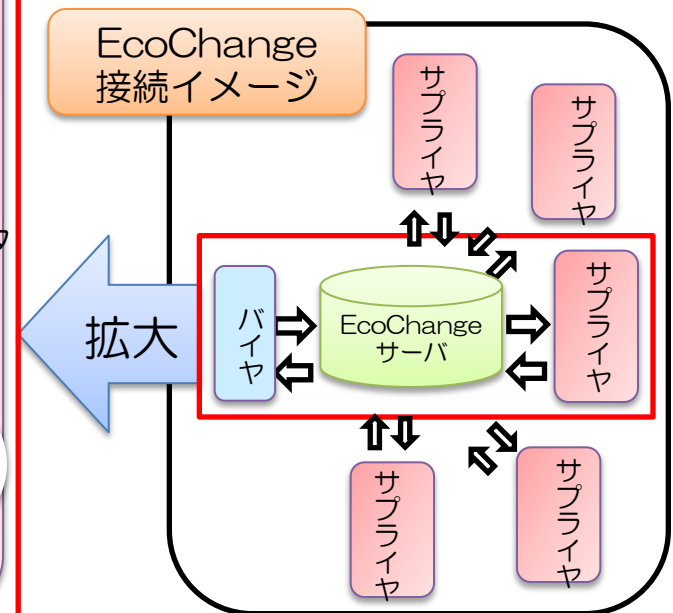
EcoChange 機能説明 [マッピング]

マッピングイメージ図



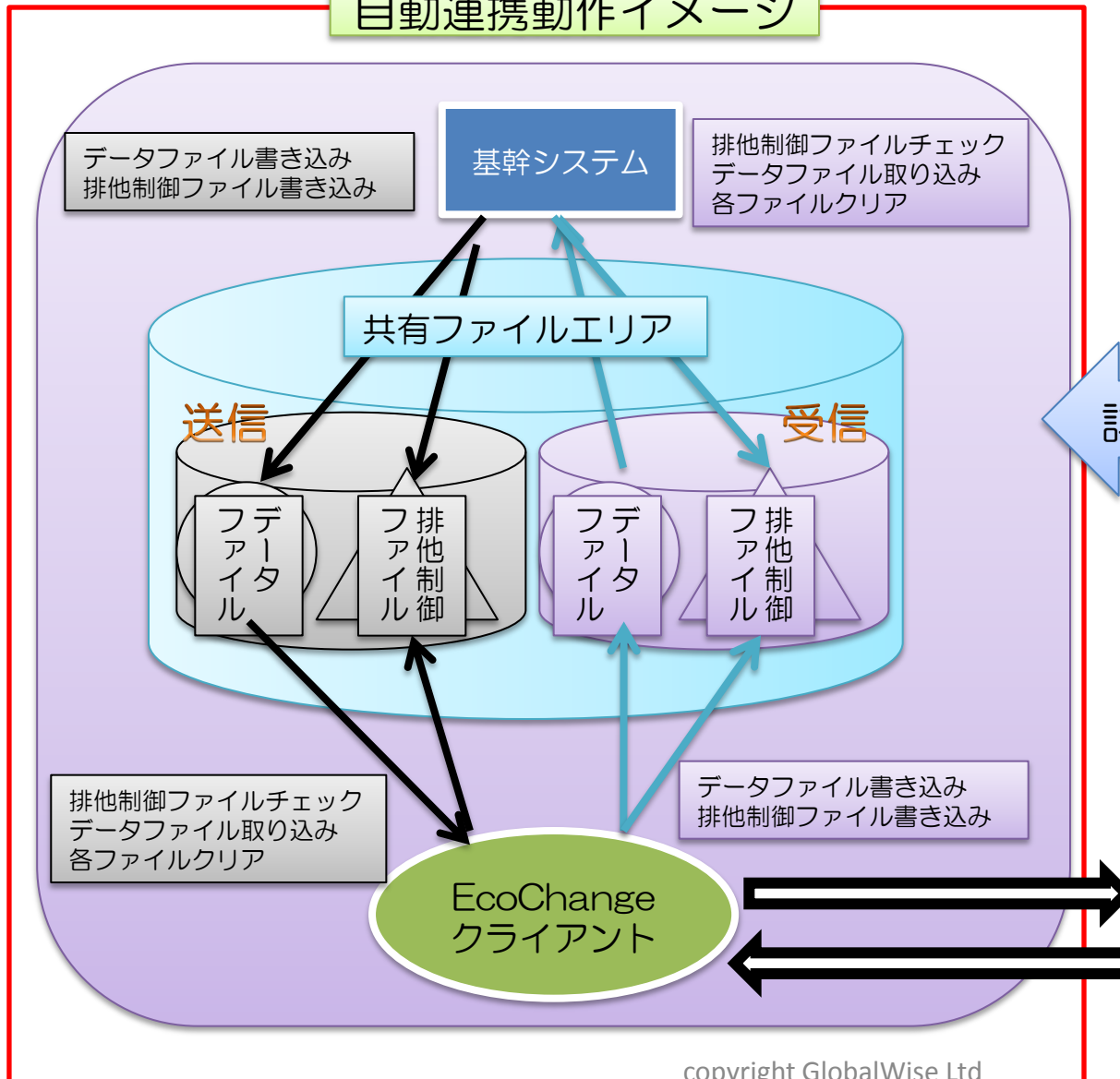
id	名称	COVNo	型	説明
1	データ作成日	1	X(0)	データを生成した日付。
2	データ作成時刻	2	X(0)	データを生成した時刻。
3	データ作成者	3	X(0)	データを生成した者のID。管理者は、受注データをこの番号の属性で処理するため。
4	受注コード	4	X(0)	受注番号と受注コード (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注コードにより...
5	受注品名	5	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
6	受注品名	6	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
7	受注品名	7	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
8	受注品名	8	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
9	受注品名	9	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
10	受注品名	10	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
11	受注品名	11	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
12	受注品名	12	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
13	受注品名	13	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
14	受注品名	14	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
15	受注品名	15	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
16	受注品名	16	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
17	受注品名	17	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
18	受注品名	18	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...
19	受注品名	19	X(0)	受注品名 (6桁) およびその拡張番号 (6桁) を表示するコードで受注品名により...

マッピング設定画面

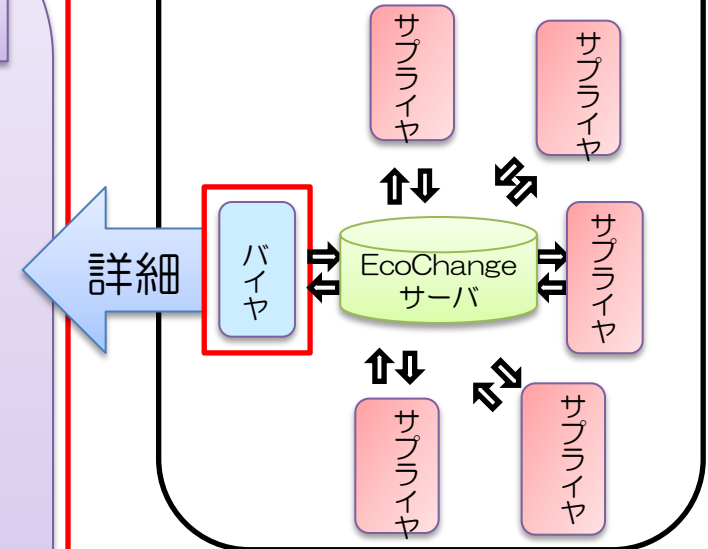


EcoChange 機能説明 [自動連携]

自動連携動作イメージ



EcoChange接続イメージ



EcoChange 標準帳票

1. StandardOrderForm1
【注文書1】
2. StandardOrderForm2
【注文書2】
3. StandardOrderForm-
StatementOfDelivery
【注文書・納品書・現品票・受領書】
4. StandardStatementOfDelivery
【納品書兼検査票・納品受付票】
5. SpecifiedOrderForm1
【指定注文書1】
6. SpecifiedOrderForm2
【指定注文書2】
7. CheckDetailedStatement
【検収明細書】
8. PayablePriceDetailedStatement
【買掛明細書】

注文書			
注文年月日		発注者コード	
受注者コード		発注者企業名	
受注者企業名		発注部門コード	
		購買担当	
基本情報			
データ作成日		情報区分	
注文番号		訂正コード	
取引方法			
コンサイメント区分		支払区分	
取引物品			
発注者品名コード		製造番号	
品名(品名仕様)		数量	
材質・規格・寸法		注文数量	
単位区分		単位	
受渡場所		場所名	
場所名(漢字)		検査区分	
納入条件			
発注者V-コード情報			
発注者用備考			
金額条件			
注文金額		消費税額	
課税		消費税区分	
自由使用欄			
備考			
納入条件、納期			
No.	納期	納入指示数量	納品半一番号
1			
2			
3			
4			
5			
6			

COXEC標準注文書① V2.0-04-00

標準注文書①



お問合せ先：

株式会社グローバルワイズ 営業本部

<本社>

愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19 住友生命名古屋ビル21F

TEL: 052-581-2600 FAX: 052-533-3611

URL <http://www.g-wise.co.jp>